

グリーンカルチャー

2020  
夏号  
No.317

こわか

発行 | 甲賀農業農村振興事務所  
農産普及課

住所 | 〒528-8511

甲賀市水口町水口6200

電話 | 0748-63-6126

発行責任者 | 市井 広樹



## 様々なシーンで大活躍！ ユーカリを推進しています！

花き業界では、枝物や葉物等のグリーン花材の需要が大きく伸びています。

その中でも、ユーカリはブライダルやフラワーアレンジなどの用途で人気が高く、滋賀県ではその生産を推進しています。



ユーカリを利用したブーケ



# 作付け条件が不利な農地でも大丈夫！



## ユーカリ栽培のすすめ

### ■ユーカリとは？

主にオーストラリアに分布する、コアラの好物として有名な樹木です。葉の形や色合いが品種により様々で、近年、観賞用切り枝として人気が高まっています。

### ■ユーカリはどのように利用されるの？

ユーカリは、枝葉を切って利用します。銀灰色の葉が特徴であり、主役となる花を引き立たせるとともにユーカリ自体の存在感も出せることから、結婚式を彩る花材として、また、個人で楽しむブーケや壁飾りにも使われています。



### ■ユーカリのおすすめポイント

- ✓ 栽培しやすく、1度植え付ければ、数年間にわたり収穫できます。
- ✓ 収穫する枝葉は軽量で、高齢者にも取り組みやすい品目です。
- ✓ 収穫に適した期間が長いため、収穫作業の都合をつけやすいです。
- ✓ 野生鳥獣による被害を受けにくい品目です。



栽培開始に向けた現地研修会の様子(令和2年5月)

### ■このような農地で栽培してみませんか

ユーカリは基本的には排水性、日当たりの良い管理しやすいほ場での栽培が適していますが、水利条件の悪い(水が入らない)ほ場や不整形で作業性が低い等、作付け条件の不利な農地での栽培が可能です。

甲賀管内では、今年、8戸の農家において約1.3haでの栽培が始まりました。販売にあたっては、これまで県が推進してきた中輪ギクやリンドウといった花束加工用切り花の販売ルート(JA集荷→関西花き卸売市場)を活用し、生花店等へ供給される予定です。

ユーカリ栽培に関心のある方は、当課までお問い合わせください。

#### ユーカリの標準的な作型

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目		○ 播種			● 育苗(20℃)	△ 定植	✕ 摘心					
2年目以降			✕ 整枝・剪定			✕ 摘心						■ 出荷



令和元年度滋賀県花き品評会においてユーカリが優秀賞を受賞

# 将来の農地の担い手は誰？

## 「人・農地プラン」の策定を進めましょう

### ■ 「人・農地プラン」とは

今耕作している農地を将来だれが管理するのか、お悩みになられたことはないでしょうか。あるいはご家族がされている農業を引き継ぐことになったらどうしようと、不安を感じていることはないでしょうか。そういった悩みや不安を解消するために、地域や集落で農地の受け手等について取り決めたものが「人・農地プラン」※（以下「プラン」）です。

※ 「人・農地プラン」：農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの（農林水産省HPより）

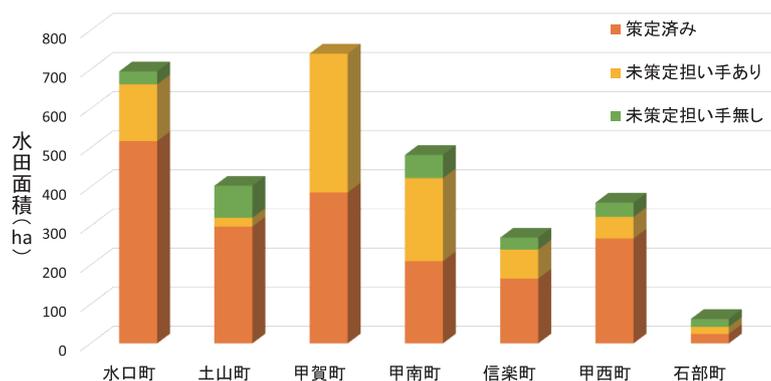
### ■ 「人・農地プラン」の策定状況について

甲賀地域では、令和2年5月現在、55地区で「プラン」が策定されていますが、営農組織がない、規模拡大する担い手がないなど、農地の預け先の特定が難しく、策定していない集落が少なくありません。

右のグラフは旧町別に水田のうち「プラン」により地域の担い手が明確化されている面積(オレンジ色)、地域の担い手が明確化されていないが、農地の受け手候補が存在しており、今後「プラン」の策定が見込まれる面積(黄色)および、現状では農地の受け手を定めることが難しい面積(緑色)に分けて表示しています。現在、未策定の集落においても、策定が見込める集落が少なくないことがわかります。

そこで、県、市役所、JAなどが参画した甲賀農業センターでは、「プラン」の策定可能な面積が大きな地域を重点的に、新規に策定する集落の掘り起こしを進めていくこととしています。

旧町別、人・農地プランにおける水田の担い手の特定状況



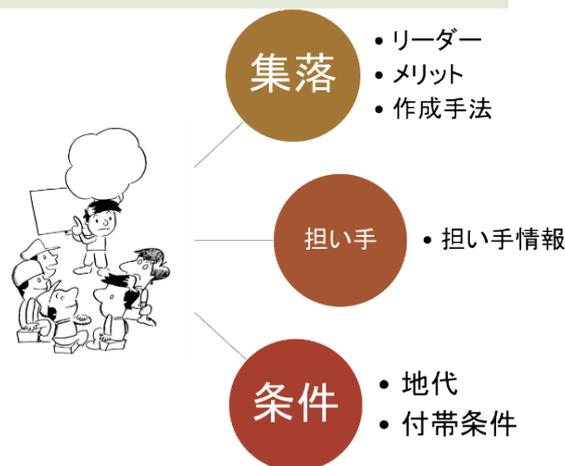
### ■ 「人・農地プラン」の策定に向けて

本年度、「プラン」を策定するメリットや作成手法等について、研修会や相談会を開催するとともに、「プラン」の策定に不可欠な、地域の担い手の情報を提供する計画です。

研修会は「甲賀地域農業センター」において集落の代表者などを対象として実施を予定していますので、是非ともご参加をお願いします。

また、「プラン」の新規策定に向けた、集落における話し合いをサポートしていきますので、お気軽に県や市、JAにご相談ください。

#### 人・農地プランの話し合いのポイント



近年管内で新規就農された方に対して、インタビューを行いました！

## 地域の新規就農者紹介

### 朝宮茶期待の新人！ 赤澤達平さん（甲賀市信楽町小川）

赤澤達平さんは大阪府の出身で、農業とのかかわりはありませんでしたが、平成29年に茶農家の助っ人グループ「茶助（サスケ）」に参加したことをきっかけに、茶助の活動を通じて信楽の風土や朝宮茶の魅力に惹きつけられました。その後、一念発起し、信楽に定住することを決め、さらに平成30年からは50 aの茶園を借り受けて就農されました。

就農当初は「茶のい・ろ・は」が全く分からず苦労されましたが、周りの皆さんからの助力を得て、困難に立ち向かってこられました。現在では茶園をさらに拡大し、「やぶきた」、「さえみどり」といった品種の栽培のほか、有機栽培茶や紅茶の製造、直売などにも意欲的に取り組まれています。

今後の抱負としては、「自分の納得いく茶を作って、いろんな人に飲んでもらいたいです。」とのこと。これからも朝宮茶の担い手として活躍されることを、地域全体で応援しています。



朝宮茶の摘採作業をする赤澤さん  
（写真左側）

### 人生第2のスタート！ 杉本三千代さん（甲賀市信楽町牧、「ぶどうや勇多八」）

杉本三千代さんは、退職後の人生を豊かなものにしたいと思い、ご家族の勧めもあって就農を決意されました。約20 aのぶどう園には、8月初旬に収穫できるサニールージュから9月上旬収穫のシャインマスカットまで、赤色、黒色、緑色などの色とりどりのぶどうを作付けした直売経営を目指した品種構成となっています。就農にあたっては、農業大学校就農科で栽培技術を学んだ他、同期生には棚の建設や販売面で助けてもらうなど、農業大学校での経験は大きな財産となっています。収穫初年目である昨年は、3色セットを販売したところリピート注文もあり、確かな手ごたえを感じたとのことでした。これからは農繁期には家族や知人にも手伝ってもらい、「栽培者にとっても、来園者にとっても、癒しの場となるぶどう園にしたい」と抱負を語っておられました。父と曾祖父の名前から付けた屋号「ぶどうや勇多八」には、そんな思いも込められています。



ブドウの房づくり作業を行う杉本さん



昨年の初収穫では3色セットが好評  
（藤稔、クインニーナ、シャインマスカット）